保育の無償化の前に待機児童解消の実現を

民進党議員団　森　たかゆき

①教育無償化の議論が国会でされているが、区の見解は。②教育無償化は国の施策であっても、中野区などの不交付団体は、一部を負担することが想定されるが、区の考えはどうか。③急増する保育ニーズに対し、施設整備が追い付かない中、保育の無償化で更に保育ニーズが増加した場合、対応できるのか。④保育については、無償化よりも、待機児童解消の実現を先行すべきでは。

区長　①制度の具体的な内容は、まだ定まっておらず、今後その動向を注視していきたい。②一般財源で実施されることとなった場合、財源の保証はなく、区の財政運営に少なからず影響を及ぼすと考える。③保育ニーズへの影響は想定されるが、必要とされる保育施設のニーズに対応することが重要である。④まず、待機児童の解消を考えていく。保育の無償化については、国の取り組みの動向を注視しながら対応したい。

SNS等を活用したいじめ相談事業を早期に実施せよ

いじめ報告相談スマートフォンアプリSTOPitや、LINE等、SNSを活用したいじめ相談事業を、区として、できる限り早期に実施することを希望し、来年度予算での対応を求めるがいかがか。

教育長　相談のきっかけづくりとして、SNS等を活用することは一定の効果があると考えるが、その後の対応も含めた実効性のある相談事業の在り方を検討していく。

不正を働いた保育園運営事業者への対応を

保育園の運営事業者による不正がしばしば起きているが、保護者の不安、不信を払拭するため、臨時検査などの対応が必要ではないか。

区長　28年度から検査担当を配置し計画的な検査を進めている。不正等が確認された施設には、状況が改善されるまで継続的に指導を行っている。

哲学堂公園の再生整備に併せにぎわいづくりの施策を

自由民主党議員団　市川　みのる

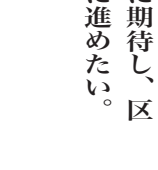
中野駅と哲学堂公園を中心とした「歴史的・文化的資源」と「地域資源・地域産業」を結び付ける回遊ルートを実際に歩いてもらうためには、何らかの仕掛けが必要である。井上円了氏の没後100周年記念イベントや、人間国宝で中野区名誉区民の能楽師梅若玄祥氏らの協力を受けるなどして、例えば薪能（たきぎのう）を公園内で行うなど、公園の再生整備に併せた、にぎわいづくりの施策が必要と考えるが、区の考えはどうか。

区長　今後哲学堂公園の再生整備に併せ、公園の魅力を取り上げるイベントの開催や、ホームページ、SNSなどを活用した情報発信を行い、回遊性を高め、地域全体のにぎわいにつなげていきたい。

山積する課題を解決し無電柱化を着実に推進せよ

中野区内の区道の無電柱化率は0・7％となっており、23区平均の7・5％を大きく下回っている。①「中野区無電柱化推進方針（案）」には、区内全域が無電柱化推進の区域として示されているが、具体的に事業着手している地区の都市計画道路やこれに接続する主要路線を選定し、着実に推進すべきではないか。②無電柱化には、埋設されている管路の移設や変圧器の置き場所の確保が困難なことが想定されるが、これらの課題をどのように解決していくのか。

区長　①優先的に無電柱化する路線の選定は、道路整備及びまちづくり事業等の実施時期や整備効果を考慮し、新設道路整備等と一体的に実施することで、無電柱化を着実に推進していく。②関係事業者の一層の協力が必要であり、初期段階から事業者への設計説明やヒアリング等を充実させ、事業者との円滑な協議、協力体制を構築していくとともに、公園等の公共施設や道路整備等による残地の活用等に努めていく。また、弥生町のまちづくりでは、都のチャレンジ支援事業による技術的・財政的支援を受け、浅（せん）層埋設や施設の小型化などの新技術の検討を行っていく。



子どもの安全対策を進めよ

公明党議員団　日野　たかし

①各学校で作られるSNS利用ルールは、毎年更新が行われるが、次の更新の際に、神奈川県座間市の事件を踏まえた対策についても考慮されるようにすべきでは。②児童・生徒の悩みをどこで受け止めていくのかを考える必要がある。SNSを使った相談事業を民間活用も視野に入れて実施すべきでは。③区としてビーコン（位置情報等を取得するための装置）を活用した見守りサービスを導入し、利用する保護者に対する助成制度を創設してはどうか。

教育長　①改めて今回の事件を踏まえた対応についても考慮するよう、各学校へ指導していく。②他区や東京都教育委員会の動向を踏まえ、今後検討していく。③ビーコン機能等の技術をどのように活用するかについては、今後検討していくべきものと考えており、助成制度等についてはその中で検討していきたい。

アンプラグドプログラミングの導入を

2020年度からの小学校のプログラミング教育必修化に向けて、プログラミング的思考を学習する際、コンピュータを使用しない「アンプラグドプログラミング」による学習方法を導入すべきでは。

教育長　「アンプラグドプログラミング」の学習方法については、今後研究していく。

空き家化抑止の取り組みを

空き家化を抑止する取り組みの一つとして、区民に対する法定相続情報証明制度の周知の徹底を行ってはどうか。

区長　今後、パンフレット等を活用した区民への適切な情報提供を行うなど、制度の周知を推進していきたい。

（仮称）弥生町六丁目公園の有効活用を図れ

①開園前に地元の小学生や幼児等を対象とした公園見学会を実施するなど、開園前から公園を区民に知ってもらうためのアピールを行ってはどうか。②公園の防災機能を活用し、地域の親子等を対象に防災キャンプを実施しては。

区長　①公園の内容を実際に理解してもらうために、工事現場の見学会などを地域の要請があれば検討したい。②サウンディング型市場調査の中で防災キャンプ等の企画提案もあった。開園後の活用については、事業者が今後考え、実施していくこととなる。

（仮称）総合子どもセンター設置準備を着実に進めよ

自由民主党議員団　大内　しんご

児童相談所を設置するからには、「中野区の子どもは中野区が守る」といった強い意志と責任感を持って、区全体で取り組む姿勢が望まれる。①平成33年度の開設に向けた準備は進んでいるのか。②設置後の相談件数、人員配置の想定は。③一時保護所はいつ頃までに整備する考えなのか。

区長　①施設整備や人材の確保・育成をはじめ、対応すべき事項を網羅したロードマップを作成している。②五百件程度の相談件数を想定し、複雑化する虐待事例に対応できる人員体制を確保していく。③児童相談所開設の時期を見据え、検討を進めている。

民間発意事業に積極的支援を

①ゴルゴ13モニュメント設置のような民間発意の事業に、どのような協力ができるのか。②設置費用は東京商工会議所と、どのように話しているか。

区長　①実現に向け、関係機関との調整など協力を行っている。②都の補助金を財源に、製作費、使用料、設置費等を東京商工会議所中野支部が事業計画にまとめている。

保育所の誘致を強力に進めよ

待機児童解消緊急対策で、公園などを活用した7施設の暫定的な保育所整備が提示された。本来、議論を深めるべき内容は、認可保育所等をどれだけ新規整備できるか、そのために何をすべきかを考えることである。今後の具体的な施策展開はどうか。

区長　保育所整備用地の情報提供の呼びかけは、すでに行っているが、更に発展させ、事業者とのマッチング制度の構築が必要と考える。

台湾との都市間交流の推進を

12月14日から超党派の議員17名で、台北市議会、市内の中山区を訪問するが、訪問に合わせ行政側の提案やアクションがあってしかるべきでは。

区長　国際交流に対する議会の熱心な努力に対しては、敬意を表する。交流の具体的な前進は望むべきであり、今回の訪問の成果に期待し、区としても積極的に進めたい。

常任委員会視察報告

建設委員会

11月6日（月）から7日（火）に、愛知県春日井市の「JR春日井駅自由通路等の整備」についてと愛知県岡崎市の「岡崎ビジネスサポートセンター」について視察を行いました。写真は岡崎市での様子です。